

## 平成24年度日高管内いじめ・不登校等対策本部会議のまとめ

平成24年9月28日（金）、日高合同庁舎4階講堂を会場に、「平成24年度日高管内いじめ・不登校等対策本部会議」を開催いたしましたので、その概要をお知らせします。

### 開会式

開会式の挨拶で、本部長である田中教育局長は、「子どもたちが、いじめを苦に自らの尊い命を絶つということは、何よりも悲しく、二度とあってはならないことであり、子どもの命を守ることは学校、家庭、地域を含め、私たち大人の責任である。本会議を日高におけるいじめ・不登校根絶の契機にしたい。」と述べました。



【開会式の様子】

### 情報提供

「児童生徒のいじめの問題の現状や未然防止、早期発見・早期対応の取組について」

北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）末武真紀主幹

- 「ネットトラブル未然防止のためのネットパトロール」の結果について
  - ・ 道教委は、ネット上のいじめ等の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、ネットパトロールを実施している。
  - ・ 不適切な書き込みの全道の検出数は2,074件（平成24年5月1日～7月19日）。主な内訳は個人情報の公開が2,013件（97.1%）。飲酒・喫煙等に関する不良行為36件（1.7%）
  - ・ 携帯電話のフィルタリング実施率は3割程度。中学校及び高等学校の入学説明会等で保護者に理解を求めることが必要である。
- いじめの問題に関する警察の取組について
  - ・ いじめに起因する事件が昨年度より増加。特に中学生の増加が顕著である。
  - ・ 「非行防止教室」や「命の大切さを学ぶ教室」を実施。児童生徒の規範意識を高めている。
- 未然防止、早期発見・早期対応を図る道教委の取組について
  - ・ 全道の全学校、全学年でいじめアンケートを定期的の実施。生徒の現状を把握している。
  - ・ 9月21日にいじめ問題対策チームを設置。いじめの原因や背景等について、詳細に調査・分析するとともに、学校や市町村教委を支援している。

### 協議

事務局から、本会議のテーマ「子どもたちの尊い命を守るためにすべきこと」の設定理由を説明し、協議を開始しました。

協議は、大きく2つの柱をもとに行われました。協議1は「いじめの未然防止、早期発見・早期対応、相談体制の取組について」、協議2は「学校、家庭、関係機関の連携の在り方について」保護者や学校、警察、教育委員会、青少年健全育成団体等の代表から、具体的なお話をいただきました。



【協議の様子】

#### 【協議1】

##### 「いじめの未然防止、早期発見・早期対応、相談体制の取組について」

- ・ いじめは許されない行為であり、命に関わることもあることを子どもたちに意識させている。
- ・ いじめの事実を隠すことなく、関係機関と連携し、子どもが救われる方向へ導くことが大切である。
- ・ 悩みを相談できる窓口があることを子どもたちに教える必要がある。
- ・ 直接子どもと触れ合わなくても、社会全体で子どもたちを見守る仕組みが必要である。
- ・ 「これぐらいは大丈夫」と考えず、いじめをしっかり把握し、適切に対応することが大切である。
- ・ 「いじめ対策検討会議」で情報を共有し、サポートチームを作り対応している。

#### 【協議2】

##### 「学校、家庭、関係機関の連携の在り方について」

- ・ いじめ等の問題行動の背景を理解するためにも、学校、家庭、関係機関が連携する必要がある。
- ・ 保護者と先生が連携し、児童生徒の自己肯定感を高める必要がある。
- ・ 保健師や精神科医、ソーシャルワーカーが連携し、児童生徒からの相談をチームで対応している。
- ・ 学校、地域が連携して、児童生徒の小さな変化を把握する必要がある。
- ・ 学校、家庭、地域が互いに顔と顔を見合わせ、話し合う機会が必要である。
- ・ 子どもの登下校の交通安全指導等、地域ぐるみで子どもを育てることが大切である。

### まとめ

「いじめはどの学校でもどの子どもにも起こりうるもの」であり、いじめの問題には、危機感をもって対応する必要があることを確認し、次の4点を協議のまとめとしました。

- ① いじめの未然防止に向けた取組の充実
  - ・ 子どもの豊かな心を育むためにコミュニケーション能力を育成する。
  - ・ いじめ根絶に向けた子どもたちの主体的な取組を推進する。
- ② 子どもをいじめから守る早めの対応
  - ・ 学校、家庭、関係機関が子どもの情報を隠すことなく共有する。
- ③ 相談窓口の子どもたちへの周知
  - ・ 子どもたちが悩みを抱えたときに、相談できる機関を周知する。
- ④ 子どもたちへのメッセージをこの後、作成し、管内全ての子どもたちに送付する